

令和6年度第2回ふなばし市民大学校運営協議会会議録

(令和7年5月14日作成)

1 開催日時

令和7年3月26日（水曜日）午前10時00分～午前11時00分

2 開催場所

ふなばし市民大学校 7階 第2教室

3 出席者

(1) 委員

高山委員(会長)、石川委員(副会長)、村尾委員、斎木委員、川田委員、山本委員、石山委員、松丸委員

(2) 事務局

藤井社会教育課長、高木主査、古川主事

(3) その他

ふなばし市民大学校事務局（公益財団法人船橋市公園協会） 大橋事業課長、松尾主幹、木内副主査、捧囑託職員、唐木田囑託職員

4 欠席者

田中委員

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

(1) 令和6年度修了生について（報告） 公開

(2) 令和7年度応募状況について（報告） 公開

(3) 令和7年度カリキュラムについて（報告） 公開

(4) 市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について 公開

(5) 特別講座コミュニティビジネスコースの実施報告について 公開

(6) その他 公開

6 傍聴者数 1人

7 決定事項

- (1) 令和6年度修了生について、ふなばし市民大学校事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。

- (2) 令和 7 年度応募状況について、ふなばし市民大学校事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (3) 令和 7 年度カリキュラムについて、ふなばし市民大学校事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (4) 市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について、ふなばし市民大学校事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (5) 特別講座コミュニティビジネスコースの実施について、ふなばし市民大学校事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。

8 議事

次のとおり

9 資料・特記事項

(1) 傍聴者配布用資料

別添のとおり

(2) 特記事項

今回は、令和7年7月から8月頃に開催予定です。開催場所等は、後日お知らせします。

10 問い合わせ先

船橋市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 庶務施設係

047-436-2892

午前10時00分開会

○高山会長

それでは、ただいまより令和6年度第2回ふなばし市民大学校運営協議会を開会いたします。

まず、本日の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

○社会教育課（高木主査）

本日の出席状況を報告いたします。本日は、ふなばし市民大学校運営協議会委員9名に対し、8名の出席をいただいております。なお、田中委員におかれましては、所用のため欠席される旨の連絡をいただいておりますので報告いたします。

○高山会長

ありがとうございました。

次に、会議の公開及び傍聴について、事務局から報告をお願いいたします。

○社会教育課（高木主査）

会議の公開について報告いたします。船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき、設置する附属機関及びこれに準ずるものの会議は原則として公開することになっております。本会議もこれに基づき原則公開となります。また、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱に基づき、会議終了後、おおむね1週間以内に会議概要を公表し、その後、個々の委員の発言内容を含めまして審議経過等が明確となるように会議録を作成し、委員名簿を含めて市のホームページで公表いたします。そのため、本日の会議を録音させていただきますことをご了承ください。

続きまして、傍聴について報告いたします。受付をいたしましたところ、1名から申し出がありました。

○高山会長

報告ありがとうございます。ただいま事務局から傍聴人ありとの報告がありましたので、傍聴人を入室させてください。

（傍聴人 入室）

○高山会長

傍聴人の方に申し上げます。傍聴に際しましては、お渡ししてある注意事項

を遵守していただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは議事に移ります。本日の会議の議題は、お手元に配付した次第のとおり、議題１「令和６年度修了生について」、議題２「令和７年度応募状況について」、議題３「令和７年度カリキュラムについて」、議題４「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について」、議題５「特別講座コミュニティビジネスコースの実施報告について」、議題６「その他」とし、この順序で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高山会長

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

議題１「令和６年度修了生について」、ふなばし市民大学校事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（大橋）

ふなばし市民大学校事務局の大橋です。よろしくお願いいたします。

議題１「令和６年度修了生について」、説明をいたします。

資料１「令和６年度ふなばし市民大学校在籍者数」をご覧ください。こちらが令和６年度の状況ですが、令和６年度は令和６年４月２７日に船橋市民文化ホールで入学式を行い、まちづくり学部９９名、いきいき学部２５３名の合計３５２名が入学いたしました。

各学科のカリキュラムに基づき、年間を通して授業を実施し、令和７年３月８日、船橋市民文化ホールで修了式を行い、３３２名の方が修了いたしました。修了者数は令和５年度と比べて３１名の減となっております。退学者数が２０名でございまして、在籍者率、修了者率と言ってもいいかもしれませんが、割合としては９４．３２％となっております。退学の理由で最も多かったものが体調不良で、１０名となっております。

議題１「令和６年度修了生について」、報告は以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題１「令和６年度修了生について」、ご質問等がありましたら

お願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは、議題１を終了いたします。

続きまして、議題２「令和７年度応募状況について」の議事に入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（大橋）

では、続きまして、令和７年度のお募集状況について、説明をいたします。資料は２-１「令和７年度出願状況一覧（１次募集）」をご覧ください。令和６年１２月１日号の広報ふなばしに掲載し、同日より受付を開始しました。令和７年１月２０日の消印有効まで募集したものの集計で、２７０人の応募がございました。全ての学科で定員の範囲内となりましたので、２月７日にご応募いただいた方に結果を送付し、定員に空きのある範囲で２次募集を行いました。

続いて、資料２-２「２次募集のご案内」をご覧ください。２次募集は、令和７年２月１５日号の広報ふなばしなどに掲載し、同日より受付を開始、３月５日消印有効で受付を行いました。このご案内は１次募集で出願者数が１５人に満たなかったスポーツコミュニケーション学科の応募者及びパソコン学科２の応募者のうち、第２希望に記載のない方に出願結果の通知と併せて同封したお知らせになります。

続きまして、資料２-３「令和７年度出願状況一覧（２次募集）」をご覧ください。

２次募集は先ほどお話ししたとおり、令和７年２月１５日から３月５日まで消印有効で行い、７１名の方からお申し込みがありました。左下の注意書きをご覧ください。この資料の最終募集人数は、資料２-２に記載しました２次募集の募集人数に１次募集で入学を辞退した方の人数を加えているため増えております。

続きまして、資料２-４「令和７年度２次募集公開抽選結果」をご覧ください。

最終募集人数を超えたふなばしマイスター学科につきまして、３月１３日に公開抽選会を行い、高山会長、石川副会長にくじ引き及び抽選記録の作成をお願いいたしました。２次募集全体で見ますと、申込者数７１名に対し、入学の

決定者 67 名、補欠が 4 名、そして、落選者はおりませんでした。なお、2 次募集の抽選結果につきましては、3 月 21 日に応募者へ発送をしております。

続きまして、資料 2-5 をご覧ください。こちらが 1 次募集と 2 次募集を合計した出願状況となります。申込者数が 341 名で、令和 6 年度の 410 名と比べると 69 人の減少となりました。平均年齢は、まちづくり学部が 66.8 歳、いきいき学部が 70.5 歳と、令和 6 年度の応募状況と比較しますと、まちづくり学部が 67.9 歳でしたので 1.1 ポイント低く、いきいき学部が 69.8 歳でしたので、0.7 ポイント高くなっております。そして、パソコン学科 2 でございますが、申込者数が 11 名となりまして出願者数が 15 人に満たなかったため、令和 7 年度は休講となります。なお、パソコン学科 2 の申込者のうち、ほかの時間帯を希望された方は全員ほかのクラスに入学をしております。

令和 7 年度から対象者を拡大し、市内在勤・在学の方も出願可能としたところ、在勤の方 2 名から申し込みがありました。

午前と午後がある学科では、くらしの教養学科を除きまして、午前中の授業の申し込みが多い傾向が見られました。

議題 2 「令和 7 年度応募状況について」、報告は以上となります。

今後ですが、4 月 7 日の週から各学科のオリエンテーションを行い、4 月 27 日に市民文化ホールで開催する入学式をもって入学者数が確定いたしますので、令和 7 年度の入学者の状況については、次回の運営協議会で報告させていただきます。

以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題 2 「令和 7 年度応募状況について」、質問等がありましたらお願いいたします。

どうぞ、石川委員。

○石川副会長

今年の出願者が非常に少なくなっていると感じているんですけども、最後の 2-5 のところにあります申込者数 341 名というのは、昨年度は 410 名

の方がいたと思います。だから大幅に約70名も減っている。倍率につきましても、いきいき学部は去年は1.01倍だったと思いますが0.82、まちづくり学部も0.1ポイント下がっている。そして、初めての経験ですが、パソコン2が休講にならざるを得ないというような状況。大変大きな変化が出てきているのが見えているのですけれども、その要因等をもう少し議論する必要があるのではないかと考えています。トレンドとして減ってきているけれども、ガクッと来たという感じを私は受けているものですから、その辺の要因とか内容については少し検討を、またこの場でも意見交換をするなりしたほうがよいのではないかなと感じております。

○高山会長

ただいまのご意見、質問に対して、事務局から何かありますか。

○事務局（大橋）

申込者数の件でございますが、申込者数が341名ということで、令和6年度の410名と比べると69名の減少でございます。前年度と比べまして申込者が増えている学科は、スポーツコミュニケーション学科、こころとからだの健康学科1・2、その3つになりますので、それ以外は減少しているというところでございます。

中でも、さきほど石川副会長のお話にありましたパソコン学科の落ち込みが非常に大きいです。パソコン学科は、前年度の申込者数が116名でございましたが、今回は75名ということで、ここがかなり落ち込みが大きいところです。

パソコン学科は、平成16年度の開校時に2クラスでスタートしており、受講希望者が多かったために、平成22年度に3クラスに増設、平成30年度に4クラスに増設しており、直近2年間の応募者は120名程度ございましたが、長期的に見ますと、だんだんと減少傾向にありますので、現在はパソコン初心者の方向けのクラスを4つ設置しておりますが、内容やコマ数を含めた検討が必要ではないかと考えております。

○高山会長

確かに、石川副会長が言われたように、昨年度より69名減っているということで、かなり大きな変化だと思いますけれども、せっかくの運営協議会です

から、皆さんご意見とか来年度以降どういうふうにしたら応募者が増えるのか、忌憚のない意見を交換したいと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

やはり場所的な要因もあるんですかね。

○事務局（大橋）

場所は農協から移ってもうだいぶたちますので、学生からちょっと通いづらというお話はいただきますけれども、駐車場もございます。歩いてくる方はちょっと大変な方もいらっしゃるようですけれども、駐車場もあって、台数をお約束できているわけではありませんが、基本的には停められます。

あとは、申し込みが終わってから、「募集していると知らなかった」という方が結構いらっしゃいます。「申し込みは終わってしまいました」という話をさせていただくケースがあります。やはりまだ周知の部分で、例年どおりの周知はしているのですけれども、広報紙ですとかホームページ、SNS、あと、駅などにありますみんなの掲示版とか、市内にあるイオンにポスターを貼らせていただいたりはしておりますけれども、またそこでもう一つ新しい何かが、人の目に触れるような何かが必要な時期に来ているのかなとは思っております。

○高山会長

ありがとうございます。

何か本件に関してありますか。

確かに、大橋さんが言われたようにパソコン学科も当初はかなりの人気でしたけれども、初心者コースということで、もうかなりの方がパソコンの初心者を卒業されて、ある程度、今度は中級レベルとか、そういうのもまた必要になってくる時期になっているのかなという感じはします。

○石川副会長

いきいき同窓会でパソコン研究会というのをつくっているんですけれども、その申し込みは、すぐに定員がうまって、早くに締め切っているというのが現状です。パソコン学科とは全く様子が違います。でも数年前までパソコン学科自体も、ものすごく競争が多かったですよね。それが何でこんなに、まして1クラス休講するというのは、私の記憶というか、そんなにずっといるわけではないですけれども、過去あったんですかね。初めてのケースであり、もう少しその要因をつかんでおく必要があるのではないかなと思います。

○事務局（大橋）

石川副会長がおっしゃったとおり、パソコン自体のニーズがなくなったわけではなくて、初心者向けのニーズがやはり一回りしたのではないかなというような分析であります。

休講についてですけれども、過去の休講は、直近では令和4年度に特別講座のライフデザイン学科が休講になっております。その前は、平成22年度、23年度の、当時はスポーツプランナー学科と言っていましたが、今で言うスポーツコミュニケーション学科が休講となっております。いきいき学部での休講は平成16年度の開校以来初めてになりますので、ここはやはりテコ入れをしていかなければいけないところだなと思います。

さっき副会長もおっしゃったとおり、いきいき同窓会のクラスは今4クラスぐらいあって、そこが人気だという話です。社会教育課でも、2日間の講座で初心者のためのパソコン講習会を実施してまして、今までは基本的な文書の作成だったのですが、新たにエクセルを取り入れたら、急に申込者が増えたというところもございますので、市民大学校のクラスの考え方をこれから社会教育課と協議をして、来年度の募集に向けて内容を考えていく必要があると思っております。

○高山会長

ありがとうございます。

はい、どうぞ。村尾委員。

○村尾委員

村尾でございます。私、パソコン4のルームアドバイザーをやっております、一番身近に感じているところではあるのですが、生徒の皆さんのお声を聞くと、「大変勉強になった」ということで、意義はすごくあると思います。

先ほどありました交通の便は、確かに車でみえる方は駐車場がありますけれども、公共交通機関を使ってみえる方については、バス便もそんなにないし、駅から歩いてくると、高齢の方からすると20分ぐらいかかりますから、そんなところは、応募者がかなり減ってきている一つの大きな要因ではないかなと自分では思っています。

先ほども言いましたように、3月辺りの修了間近でいろんな話を聞きますと、

本当によかったという方がすごく多いんですね。それで、もっとやりたいということで、先ほど石川副会長が言われたパソコン同好会へみんな流れていくというようなことで、うちのクラスでも当初10名ぐらいはそちらへ入りたいということで希望を出して、ほとんどの方は受かって、これから4月に向けていくような状況にあります。

あと一つ、社会福祉協議会というところに属しているんですが、各公民館等に市民大学校の募集チラシが置いてあり、かなりの数刷っていらっしゃるけれども、結構余る。もったいないなというところが一つあります。その配布の仕方がただ置いてあればという感じです。公民館にみえる方って限られた方しかいないんですよ。何かの用事がある方ばかりでほとんどいないと言ったほうがいいぐらい。社会福祉協議会で何とかサロンとかいろんなことをやって、そこに参加している方は公民館に通ってみえるんですけども、一般の方はなかなか難しいところがあるかなと。

公民館のことしか言っていないんですけども、配布あるいは先ほど大橋さんが言われた周知の仕方も、ちょっと変えていただければいいのかなと思っています。

○高山会長

ありがとうございます。確かにPRの仕方も難しいですよ。昔は事前に市民大学校説明会を公民館でやったり、市民活動フェアに参加させていただいて、パンフレット等も置かせていただいたり、いろいろPRしていましたけれども、こういう時代ですから、どういう形でPRしていくか、非常に大きな課題だと思います。

ほかに何かありますか。

川田委員、どうぞ。

○川田委員

せっかく申し込んでいただいた11名の方は、ほかのパソコン学科のクラスに移れるということではないのですか。

○事務局（大橋）

パソコン学科につきましては、第2希望まで記入することができますので、その時間でないと駄目だという方がお一人いらしゃったのですけれども、そ

の方以外はほかの時間帯に移ることができています。

○川田委員

せっかく60代から80代の方がお申し込みになっていて、もう休講ですよと切られるのがちょっと忍びなかったのです。

○事務局（大橋）

休講になりますという通知を出さざるを得なかった方にも事前にご連絡をさせていただいて、現状を説明させていただいたうえで、ほかの時間に移ることは可能ですけれどもいかがですかというお話はさせていただいています。

○川田委員

よかったです。

あとは、距離的な問題ですけれども、農協で会議をやっているときにはこの問題がすごく議論になりましたよね。でも、もう場所が変わるというのは決定ですし、慣れれば皆さん自然に来られるようになるのではないかと話でした。こちらに移って何年になりましたか。

○事務局（大橋）

令和4年度2月に移っていますが、授業は4月からなので今丸3年経ったところですよ。

○川田委員

まだまだ馴染みがないというところもあると思うんですが、農協のところもそんなに便利のいいところではなかったんですよ。バスが通っていても中途半端なバス停で降りなければならなかったし、駅からもさほど近いわけでもなかったのです。立地条件的には、ここもきっと慣れていただければ、この問題も解決していけるのではないかなと期待します。

○高山会長

ありがとうございました。

斎木委員、どうぞ。

○斎木委員

市民大学校のPRの仕方ですけれども、さっき言われたように、やっぱりちょっと告知が広がっていないと思うんです。我々が講座をやるときにいつも思うんですけど、今、民間の、折り込み広告があるじゃないですか。そっちのほう

が広報紙よりも最終的に集客に役に立つんですね。だから、そろそろ定年かなと思う1年ぐらい前から、みんな多分いろんな情報を探していると思うんです。企業を辞めるところはね。いつもそういうのを見ているんだろうと思うんですよ。私も見ていましたけどね。広報紙だけだとなかなか見ない。折り込み広告みたいなものがありますよね。ああいうふうに常に市民大学校を船橋でやっているというPRをもうちょっとやったほうがいい。

私も生涯学習コーディネーターのことばかりやっていますが、やっぱり市民活動サポートセンターの仕事とかいろいろやると、市民大学校はあまり話題にならないというか。やはりそういう点で告知の窓口を広げるというのは、一つ大事なことだと思いますけどね。

○石川副会長

船橋市に勤務されている方も可になって、増えていらっしゃるんですか。

○事務局（大橋）

2名です。

○石川副会長

まだ少ないですね。

○高山会長

今後また来年度に向けて議論していかなければいけないと思いますので、何か貴重な意見とかアイデアがありましたら、運営協議会でもいいし、直接市民大学校のほうにお話してください。よろしくお願いします。

それでは、議題2はよろしいですか。

続きまして、議題3「令和7年度カリキュラムについて」の議事に入ります。よろしくお願いします。

○事務局（木内）

ふなばし市民大学校事務局の木内です。

令和7年度カリキュラムについて報告いたします。資料3に沿って説明いたします。

令和7年度のふなばし市民大学校のカリキュラムにつきましては、令和6年度のカリキュラムを基にしながら、カリキュラム編成会議での委員からの助言や学生からのアンケート等を考慮しまして作成をしております。

それでは、ボランティア養成学科から変更点等につきまして順次説明いたします。

ボランティア養成学科のカリキュラムは、令和6年度と大きな変更はありませんが、授業の順番を令和6年度の学生の様子等を参考にしながら入れ替えています。基礎的な知識を夏までに受講し、夏の間にボランティア体験を行うという流れは令和6年度から維持しつつ、受講する学生が地域の活動に目が行く内容となるように工夫をしております。また、「実習受入団体プレゼンテーション」というカリキュラムでは、もともと各団体の活動には全然興味がなかったという学生が、団体の説明を聞いて興味を引かれて参加するという事例があるほか、実習にどうしても及び腰の学生が、積極的な学生さんに引っ張られて実習に行ってもらえるなど、学生同士のコミュニケーションも円滑になるきっかけになっている様子でしたので、こちらのカリキュラムは今後も充実・継続してまいります。

続きまして、スポーツコミュニケーション学科のカリキュラムについて説明いたします。

スポーツコミュニケーション学科のカリキュラムは、令和7年度も引き続きまして、日本パラスポーツ協会公認初級パラスポーツ指導員資格の取得と専門学科の2本柱で授業を進めてまいります。授業内容につきましても令和6年度との変更はございません。年度末頃に実施いたします市民向けのイベント、こちらも企画・運営を重視したカリキュラムを維持しながら、イベントの準備方法、例えば話合いの仕方、会議の進め方といった内容も継続して学習しながら実施していきます。

令和6年度は受講生が少なく、イベントの規模を小さめにと消極的になりがちでしたけれども、担当講師から100名を超えるようなイベントも実施可能だにご助言をいただき、学生もやる気になりまして、イベントの内容を途中で見直すというような経緯もありました。令和7年度は早めに担当講師の授業を取り入れまして、ある程度全体でビジョンを共有した状態で、途中で紆余曲折はあっても大きな変更のないよう、イベント準備に入れるように取り組んでまいります。

スポーツコミュニケーション学科は、これまで教室としていた中央公民館が

年度の途中で改修工事に入りますため、途中からは東部公民館を会場として実施することとなります。スポーツコミュニケーション学科は以上です。

続きまして、生涯学習コーディネーター養成学科のカリキュラムについて説明いたします。

生涯学習コーディネーター養成学科につきましても、授業内容に大きな変更はございません。令和6年度のよい流れを維持しながら授業を進めてまいります。令和7年度につきましても、スポーツコミュニケーション学科同様、カリキュラムの集大成というべき市民イベントを実施しておりますが、こちらを長らくご指導いただいております講師が令和6年度で引退されるということで、一旦は元公民館長である職員が担当して実施することとなります。講師につきましても、引き続き継続して別講師を検討してまいります。

続きまして、ふなばしマイスター学科について説明いたします。

ふなばしマイスター学科につきましても、令和6年度授業内容から引き続き各方面の専門家による充実した授業が実施できております。令和7年度については、授業の実施順を整理するほか、研究内容のアウトプットを重視したいと考えておりまして、プレゼンの仕方など講師と連絡を取り合いながら充実させてまいります。令和7年度におきましては、講師3名から、本業が多忙、ご家庭の事情といった理由から、講師辞退の連絡をいただいております、別講師への変更となりますが、学習内容に支障がないよう連絡を密に取りながら取り組んでまいります。

このふなばしマイスター学科までがまちづくり学部の授業カリキュラムになります。

続いて、いきいき学部のカリキュラムについて報告いたします。

くらしの教養学科について、説明いたします。

くらしの教養学科は、令和6年度カリキュラムから授業の整理を行います。「金融を知る」という授業3コマと「ゲートキーパーについて」、「熱中症について学ぼう」という授業を削除しまして、新たに「みんなで考えようごみ減らし ごみの減量と再資源化」、「終活 はじめの一步」、「家計に関する講義」、「船橋初の国史跡指定 取掛西貝塚」という授業を追加、「房総の大名 林忠崇の戊辰戦争」という授業を「船橋市域における戊辰戦争」という授業へ変更い

たします。

まず、金融の授業についてですが、こちらは学生からの評価点も低くなってきておりますほか、授業内容が受講者層のニーズと少し離れていると判断いたしました。もともとは授業数を減らして興味の高そうな内容に厳選しようと講師と交渉しておりましたが、講師のほうから次年度辞退の連絡がありましたため、授業を削除し、お金の話としまして新たに「家計に関する講義」を追加いたします。

「ゲートキーパーについて」、「熱中症について学ぼう」については、ゲートキーパーの重要性については理解できる場所なわけですが、講義だけではなかなか活動にはつながらず、学生のニーズから離れており、また、熱中症対策の授業内容が15分程度の一般的な話でもありまして、カリキュラムに入る必要性が大きいことから整理することといたしました。

また、近年、環境問題への意識が高まっている中、環境に関する内容がなかったことから、ごみの減量・資源化についての講座を追加し、年代的に学生のニーズとマッチしているのではないかと考えまして終活の始め方に関する講座を、それから、取掛西貝塚について市内唯一の国指定の史跡であるにもかかわらず、知名度がまだそれほど高くないということもありまして、広く文化的価値を知っていただきたいと考え、取掛西貝塚に関する講義を追加いたしました。

「房総の大名 林忠崇の戊辰戦争」の授業につきましては、対象をより船橋にフォーカスした「船橋市域における戊辰戦争」という内容へ変更いたします。

あとは、アンガーマネジメントについての授業をお願いしておりました講師について、今までお願いしておりました講師が遠方に住んでいらっしゃるから、同内容にて別講師へ変更をいたします。

次にこころとからだの健康学科について説明いたします。

こころとからだの健康学科につきましては、創作と運動を2本柱にカリキュラムを組んでまいりましたが、学生の意見等で運動分野の授業が少ないということもありまして、「e-スポーツ体験」、「MATTOSSを楽しもう」、「ウォークラリーを楽しもう」の授業を新設、また、日程の調整がつかなくなったということで俳句の講師から辞退の申し出がありましたので、俳句の授業について廃止をいたしました。

eスポーツ体験は、ふだんデジタル機器に接する機会の少ない方の抵抗感の低減と、運動能力の高低によらずにコントローラー操作による手指や体の運動を通して脳機能の活性化や認知機能の低下予防、フレイル予防などの効果が期待できることから、採用することといたしました。

MATTOSSについてですが、MATTOSSとは筑波大学が開発した誰でも簡単に楽しめる脳トレ運動、スポーツ&エクササイズということです。市内の公民館等でも実績がある講座で、軽運動としてふさわしいと考えられるため、新規で追加いたしました。

また、班での活動や仲間づくりというのが市民大学校の目指すところでもございますけれども、こちらに効果があると思われるため、「ウォークラリーを楽しもう」を追加いたしました。

ここからだの健康学科については以上です。

続いて、パソコン学科について説明いたします。

パソコン学科につきましては、引き続き基礎から初級レベルの内容を学習するカリキュラムを実施する予定で、前年度から変更は特にございませぬ。しかしながら、先ほども議題に上がりましたが、パソコン学科2が人数不足により休講したことを受けて、令和8年度以降のカリキュラムについては、どのような形が望ましいのか、引き続き検討してまいりたいと思います。

続きまして、園芸学科です。園芸学科1、こちらは畑で野菜をつくるクラスのカリキュラムですが、令和6年度からカリキュラムに大きな変更はございませんが、授業の実施時間について一部変更をいたします。夏の猛暑が年々きつくなっておりまして、令和6年度に授業を1時間早めるサマータイムを導入しましたけれども、こちらが一定の効果があつたというふうに判断されますので、令和7年度につきましては、今まで8月のみの対象だったところを9月にも拡大をして導入することといたします。

また、これまでの授業会場を御滝花園等をお願いをしておりましたけれども、夏の間は可能な限り公民館など温度管理ができる会場を選びまして授業ができるように改善をいたします。

続きまして、園芸学科2についてです。園芸学科2につきましては、カリキュラムに変更はございません。園芸学科1と同様に、猛暑対策として一部の

授業を公民館に会場を変更して実施いたします。

令和7年度のカリキュラムについては以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題3「令和7年度カリキュラムについて」、質問等がありましたらお願いいたします。

学生さんのアンケート結果、それから講師の都合でいろいろと変更されていきますけれども、特段ご質問等はよろしいですか。

それでは、議題3を終了いたします。

続きまして、議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について」の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（唐木田）

ふなばし市民大学校事務局の唐木田です。

市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について報告いたします。資料4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について」をご覧ください。

目的や内容については資料のとおりです。実施状況についてですが、9月1日号の広報ふなばしへの掲載、市のホームページへの掲載、それから公共施設でのポスター掲示、チラシ配布を行い、定員20名のところ16名のお申し込みをいただきました。その後、家庭事情等で受講できなくなった方などがいらっしゃり、全5回の講座の参加者数は記載のとおり、1日目が12名、最終5日目が11名の参加となり、11名が修了しました。修了者の年代は裏面の表のとおりです。

この講座を修了し、最終日に行われた対面テストに合格した市民スマホコンシェルジュには、それぞれのお住まいの地域で各自活動していただくこととなりますが、市民の方への対応などについてある程度場慣れしていただくこと、また、ボランティア活動のきっかけづくりが必要であろうと考え、中央公民館との協議の上、公民館で開催しておりますデジタルデバイド対策講座でのボランティア活動を希望する方にはあらかじめ登録して活動していただくこととし、8名の方に登録いただきました。

次はアンケート結果をまとめたものになります。講座では多くのグループワ

ークやロールプレイングも行い、参加者からも積極的に質問がされ、非常に活発な講座となりました。全体を通して、昨年に引き続きボランティア活動のきっかけづくりとなることができたのではないかと考えております。

また、ジェイコム取材が入りまして、講座についてテレビ放映が11月8日にされました。

説明は以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について」、質問等がありましたら、よろしくお願いします。

最後の対面テストというのは、どのように実施するのですか。

○事務局（唐木田）

指導者が複数いて、相談役となって、実際に適した対応ができるかどうかということを模擬的に行うテストでございます。

○高山会長

ありがとうございます。

特段よろしいですか。

それでは、議題4を終了いたします。

続きまして、議題5「特別講座コミュニティビジネスコースの実施報告について」の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（松尾）

ふなばし市民大学校特別講座コミュニティビジネスコースの担当の松尾でございます。

コミュニティビジネスコースの実施報告について説明いたします。資料5をご覧ください。項目の1から6、目的、日程、時間、対象等々は、前回の運営協議会で既に説明させていただいております。今回は項目の7以降、結果等について説明いたします。

項目7の申込者について、11月1日から12月1日までの1か月間、受講者を募集いたしましたところ、13名からの申し込み、オンライン申請が10件、電話3件がございました。

次のページをご覧ください。年代分布はご覧のとおりで、40歳から60歳代の方を中心に幅広い年代の方が参加され、90歳の方も参加をいただきました。

今回の講座はどなたでもお申し込みいただける講座としましたので、市外の方の参加もございました。居住地別では、市内の方が9名、市外の方が4名。市外の方は、八千代市の方が2名、鎌ヶ谷市が1名、市川市の方が1名ということで4名でございます。9の各回の出席状況は、受講者が13名なのですが、仕事のご都合ということで欠席することがありまして、12名の出席状況でございました。

各回の受講者の評価は10の表のとおりで、毎回受講生から講義内容などについてコメントをいただいておりますのでご紹介しますと、「自分以外の方は全て良かったです。本当に何をしたいかです。自分がどこまでできるのか、それを期待して考えてみます」（40歳・男性）ですとか、「皆さんの考えていること（女性、若い人）が聞けて良かったです。自分の考え、コミュニティビジネスの案がまとまって良かったです」（50代・男性）、「参加者皆さんのアウトプットが、同じ話題でもいろいろ違うことを改めて実感しました。面白いの一言に尽きます」（50代・女性）といったようなお声をいただいております。最終日には、この講座を通して感じたことや、今後やってみたいことを参加者が1人ずつ発表する授業でございました。

資料に戻りまして、最終日に行った参加者へのアンケートの結果になります。回答者数は12名でございます。

授業料や講座を知ったきっかけ、講座の開始時間、講義の時間についてお伺いしました。授業料については、「適切だと思う」が83%、「もう少し高くてもよい」が9%、「もう少し安くないと不満」という方もお一人いらっしゃいまして、「他の自治体では無料のところもある」という理由でございました。

問2の講座を知ったきっかけにつきまして、一番多かったものが「講座のチラシ」で33%、続いて「広報ふなばし」が25%、「知人からの紹介」が17%、船橋市の公式X（旧Twitter）を見た方もいらっしゃいました。講座の開始時間や講義時間の長さは、アンケートの結果から現状のままでよいのではないかと考えております。

最後に、前回のコースから、授業料の5,000円を銀行での納付以外に、講座の初回に現金で納付することもできるように配慮しておりますが、次年度においてはコンビニでの収納が行えるようになり、より利便性が高まるものと考えております。この簡便な手続によって参加者増を図ってまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題5「特別講座コミュニティビジネスコースの実施報告について」、質問等ありましたらお願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは議題5を終了いたします。

続きまして、議題6「その他」について、何か事務局からありますでしょうか。

○社会教育課（高木主査）

特にはございません。

○高山会長

ありがとうございました。

以上で本日の議題は全て終了いたしました。今回の全ての議事を通じて、何か質問とかご意見がありましたら、よろしくお願いします。

○石川副会長

ルームアドバイザーの方というのは、ご承知のように私どもいきいき同窓会から推薦させていただくという流れになっているのですけれども、今回、パソコン学科2が休講となったために、次の機会は年度と言うと再来年度にスタートになるわけですので、私どもいきいき同窓会としては、一応今年度で退任されたんですけれども、決まって受けられた形だけになっているので、一応私のほうが、その時が来ましたら、次もう一度チャレンジされますかということは確認させていただこうとは思っています。もちろん、もういいということで新しい方を見つける必要があるのかどうかは、その時点で考えなければいけないのですが、やっぱりご本人にとっては、多分唐突なことだったと思うんですよ

ね。だから、その辺のケアがやっぱり必要ではないかなというふうに思うので、私のできる範囲は私のほうでケアさせていただきますけれども、突然明日から結構ですということとは、結果論ですけれども、私はちょっと気にかかってはいます。まだ直接お話ししていないんですけど、次にまたルームアドバイザーになる意欲をお持ちかどうかまではちょっと分かりませんが、一応そういうスタンスで臨みたいと思っていますので、ご承知だけしておいてください。

○事務局（大橋）

今お話のあったご担当いただいていたルームアドバイザーの方ですが、1次募集締め切りの段階で開講人数に達していないということはお伝えをさせていただいており、その後2次募集でも開講人数に達しない場合は休講となる旨の説明はさせていただいておりました。また、2次募集の状況も随時お伝えをさせていただいておまして、ご本人からは、それは仕方ないというようなお話はいただいておりますが、来年度に向けて副会長のおっしゃったとおり心の準備はされていたと思いますので、そこは大変申し訳なく思っております。

また、例年、ルームアドバイザーやルームサポーターの選考を各団体に依頼をしている関係で、選考には時間が必要と考えておまして、12月頃に各団体に推薦依頼をさせていただいておりますが、こういった休講になることがございますので、休講となる可能性も踏まえて、その辺の依頼ですとか選任の時期については検討してまいりたいと思っています。

○石川副会長

はい、分かりました。

○高山会長

ありがとうございました。

ほかに何かございますか。

ないようでしたら、これをもちまして質疑を終了いたします。

本日の議事は全て終了いたしました。

本日の議事録の署名は、村尾委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

以上をもちまして、令和6年度第2回ふなばし市民大学校運営協議会を閉会

いたします。

傍聴人の方はご退席をお願いします。

午前 11 時閉会